

孫禁断症状

校 長 武井 正明

先週日曜日、孫が我が家に来た。

到着直前に車内でうんちトラブル、周囲は大騒ぎ。本人はスッカリ、至って涼しい顔。今回もなかなかの大物ぶりを発揮した。髪の毛はいつも風呂上がりの様に爽やかだ。

現在 5600 g、生まれた時が 2846 g だから 2 か月余りで体重は倍になった。全部母乳というのは今時珍しいらしい。



現在の、寝かしつけ得意技は「スーパーのレジ袋クシャクシャ作戦」だ。ひとりが抱っこしてゆっくり揺さぶる。その傍でレジ袋をクシャクシャにし続ける。この音が、赤ちゃんが胎内にいる時の振動と酷似しているようで、これがパッと泣き止むのだから不思議だ。残念ながら現在の私は、抱っこ係よりもクシャクシャ係の比重が高い。

この頃は「孫禁断症状」が出てきた。

帰る車を角まで送って手を振って、ふたりとも「行っちゃったね…」やや肩を落として家に入る。そして暫くは妻と、ついさっきまでいた「孫の思い出」を語り合う。さらに今度はいつ会えるのか、それまで何日あるのか、何ができるかアイディアを出し合う。

あとは娘から送られてくる動画を、ひたすら待つのだ。

届いた瞬間、どっちが早くそれを見るか競うように再生する。そして孫のキック力の強さ、表情の豊かさ、目の動きからアタマの良さや将来性を推理して「きっと～だろう」と、孫の未来を想像し、妻や義母と語り合うのだ。

そんなことをしているうちに数日は過ぎる。しかし直前の数日、ここからが重く長い。

最近はやがかなりよく見えてきているようで、動くものを頻繁に追い掛けるようになった。先日送られてきた絵本読み聞かせの動画では、象さんには反応しないが、お猿さんに対して明らかに表情が陽気になり、足をこれでもかとバタつかせて、ウケまくっている。同じ午年なのにお馬さんには、あまり反応が芳しくない。

前に買ってきた絵本の反応はイマイチだった。彼にはレベルが低すぎたのかもしれない。

「コチョココチョは絶対ダメだからね!!」娘が小さい時、くすぐり過ぎて嘔吐させたことがある。工夫して笑わすことができなくなると、直接笑わそうとする癖がある私に、妻は厳しく釘を刺す。

わかっている。そんな手荒な真似はしない。俺はただ、孫と仲良くなりたいだけだ。

大事な俺の相棒、丙午同士の仲間。今のうちから親しくなっておきたい気持ちは、そうそう抑えられない。待っていてくれ、もうじき行くから。